SAKAImed

スピノ（CB-100）用

担　架

CBW－１００／105

取扱説明書

CBW－１００

（スライド式枕タイプ）

CBW－１０５

（バスクッションピロータイプ）

●このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

●「取扱説明書」は
・１部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・１部を保存用として、大切に保管してください。

01-204④Q3

用 途

本製品は、当社浴槽『スピノ』(CB-100)専用の担架です。
ストレッチャー又は洗浄台と組み合わせて使用します。

特 長

●上肢用と下肢用のサイドフェンス

入浴者の身体が担架から出ることを防ぎ、側臥位での作業の際にも安心です。下肢用フェンスは、トランスファーボードとして使用できます。

●入浴者の方が安心して入浴できる、安全配慮設計

·二重ロック付きサイドフェンス（下肢用）

·担架の脱落防止機能

●入浴者の身体に合った快適な入浴姿勢

·背もたれのリクライニング

·膝上げ

·枕の上下位置調節および角度調節※

● 包み込むような寝心地

背中と臀部を、身体に沿ってくぼませています。体位保持が安定し身体のずれを防ぐとともに、やさしい寝心地を提供します。

● オプションで手すりを設置できます

※スライド式枕タイプ（CBW-100）のみ

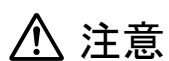
ご使用になる前に

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

表示について

危険や損害の程度を以下に区分し、表示しています。

⚠ 危険	取り扱いを誤ると、**「死亡または重傷を負うことに至る」**ことを示しています。
⚠ 警告	取り扱いを誤ると、**「死亡または重傷を負う可能性が想定される」**ことを示しています。
⚠ 注意	取り扱いを誤ると、**「傷害または物的損害の発生が想定される」**ことを示しています。

絵表示の意味

禁止	行為を禁止することを示した表示です。
強制	必ず実行していただくことを示した表示です。

その他の表示

お願い	製品を使用する上で留意していただくことを示した表示です。
参考	参考にしていただくことを示した表示です。

ご使用になる前に／安全上のご注意

ベルト・マット

⚠警告

担架に入浴者を乗せたら、3本の安全ベルトを装着する

- 入浴者が動いて担架から落下したり、足がはみ出して挟み込まれる恐れがあります。
- 浮力により腰の位置がずれて、水没する恐れがあります。

安全ベルトは、入浴者の体格に合せて長さを調節する

- 身体がずれて担架から落下する恐れがあります。
- ベルトやバックルに皮膚が擦れてけがをする恐れがあります。

安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない

体位変換や移乗の際に外した場合、入浴者が落下する恐れがあります。とっさの対応が出来るように入浴者のそばから離れないでください。

体位変換後や移乗後は直ぐに安全ベルトを再装着してください。

⚠注意

安全ベルトの損傷に注意

ほころび始めたり、切れかかってきたら、新しいベルトと交換してください。安全ベルトの身体固定力が低下すると、思わぬ事故の原因となります。

マットの損傷に注意

- 古くなって破れたり、マット止めピンがマットから浮き出してきたら、新しいものと交換してください。マット止めピンの浮き出した部分で、入浴者がけがをする恐れがあります。
- マット止めピンの取り外しの際は、スナップボタン外しを使用し、1つずつゆっくりと行ってください。
- 高温により変形する恐れがありますので、当社推奨の清掃方法（P.22）以外の方法で清掃を行なわないでください。

入浴作業前に全てのマット止めピンが確実に取り付けられていることを確認する

完全に取り付いていないと、マット止めピンがマットから浮き出し、入浴者がけがをする恐れがあります。また、入浴中にマットが外れる恐れがあります。

マットは、日陰干しにて乾燥する

直射日光で乾燥させると劣化します。

高温のシャワーをマットにかけない

マットが変形する恐れがあります。

サイドフェンス、手すり※

⚠警告

下肢用サイドフェンスを倒してトランスファーボードとして使用するときは、サイドフェンスが相手側の支持で安定していることを確認

ベッドや移動用ストレッチャーにサイドフェンスが載っていないと、落下の恐れがあります。

入浴者を担架に移乗させたら、全てのサイドフェンスを起こしてロックを確認

サイドフェンスのロックが不十分だと、入浴者が落下する恐れがあります。

⚠注意

サイドフェンスを操作するときは入浴者の手足の状態に注意

サイドフェンスと担架面の隙間に入浴者の手足の指先が入っている状態で、サイドフェンスを操作すると、指が挟まり、けがをする恐れがあります。

入浴者を担架に乗せたら、手すりを握らせ肘を内側に入れる※

手すりを握っていないと、上肢が担架の外側に出て、けがをする恐れがあります。
握れない場合は、上肢を保持するベルトなどを使用し、上肢が担架の外側に出ないようにしてください。

※手すり（オプション）を設置している場合

背もたれ・膝部

⚠警告

背もたれを倒すときは、ゆっくりと操作し、最後まで手を離さない

勢いよく倒したり、途中で手を離すと入浴者が頭を強打し危険です。また手足を挟むなどけがをする恐れがあります。機器を破損する恐れもあります。

背もたれ・膝部を操作するときは、入浴者の状態に注意

サイドフェンスや担架フレームとの間に入浴者の手などが挟まれ、けがをする恐れがあります。

背もたれ・膝部を上げたら、ロックされていることを確認

しっかりとロックされていることを確認してください。

膝部を上げ下げする際は、膝部を常に手で支え固定を確認するまで離さない

途中で手を離したり力を抜くと、膝部が勢いよく落下し、思わぬけがをしたり機器を破損する恐れがあります。

⚠注意

膝部を戻すときは、手指の挟み込みに注意

サイドフェンスや担架フレームとの間に介助者の手や指が挟まれ、けがをする恐れがあります。

枕

⚠注意

入浴時は常に枕を装着する（CBW-100）

枕の固定用ノブの鎖が機器に絡む恐れがあります。

枕を上方へ起こしたときは、必ずロックを確認（CBW-100）

しっかりとロックされていることを確認してください。

枕の角度切り替えはゆっくりと（CBW-100）

入浴者の頭を載せたまま急激な操作をすると、けがをすることがあります。

クッションピローを洗浄する際は、ナイロンたわしやブラシなどでこすらない（CBW-105）

クッションピローは直射日光を避けて保管する（CBW-105）

担架上の作業

⚠警告

担架上で入浴者の姿勢を変えるときは、手足の指の状態に注意

手足が拘縮や麻痺で変形している人は、担架面とサイドフェンスの間に指が入ってしまう可能性があります。隙間に入ったまま姿勢を変えると、けがをする恐れがあります。

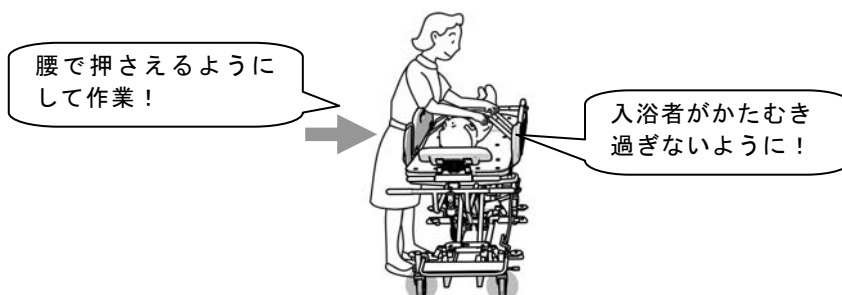
入浴者が体位変換等で側臥位になったときは、入浴者が担架ロック解除レバーを握らないように注意

万一の担架脱落事故を防止します。

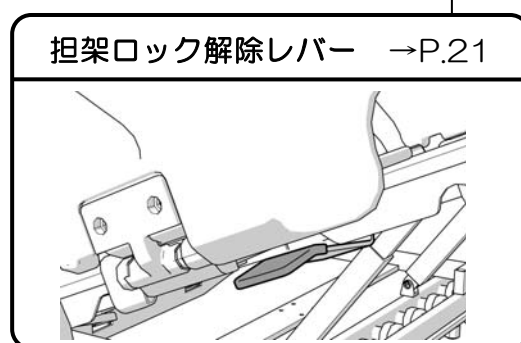
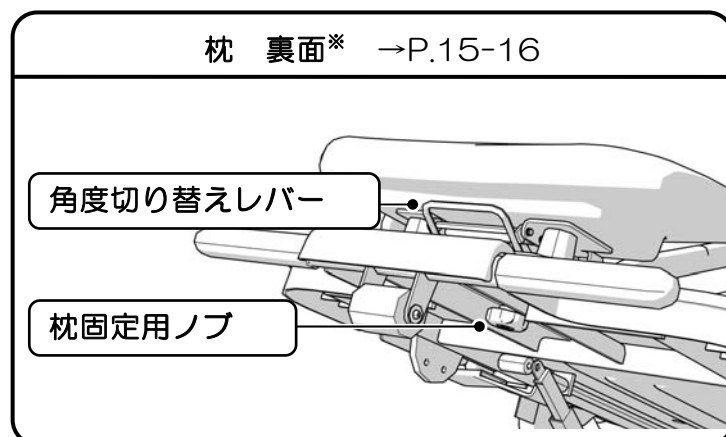
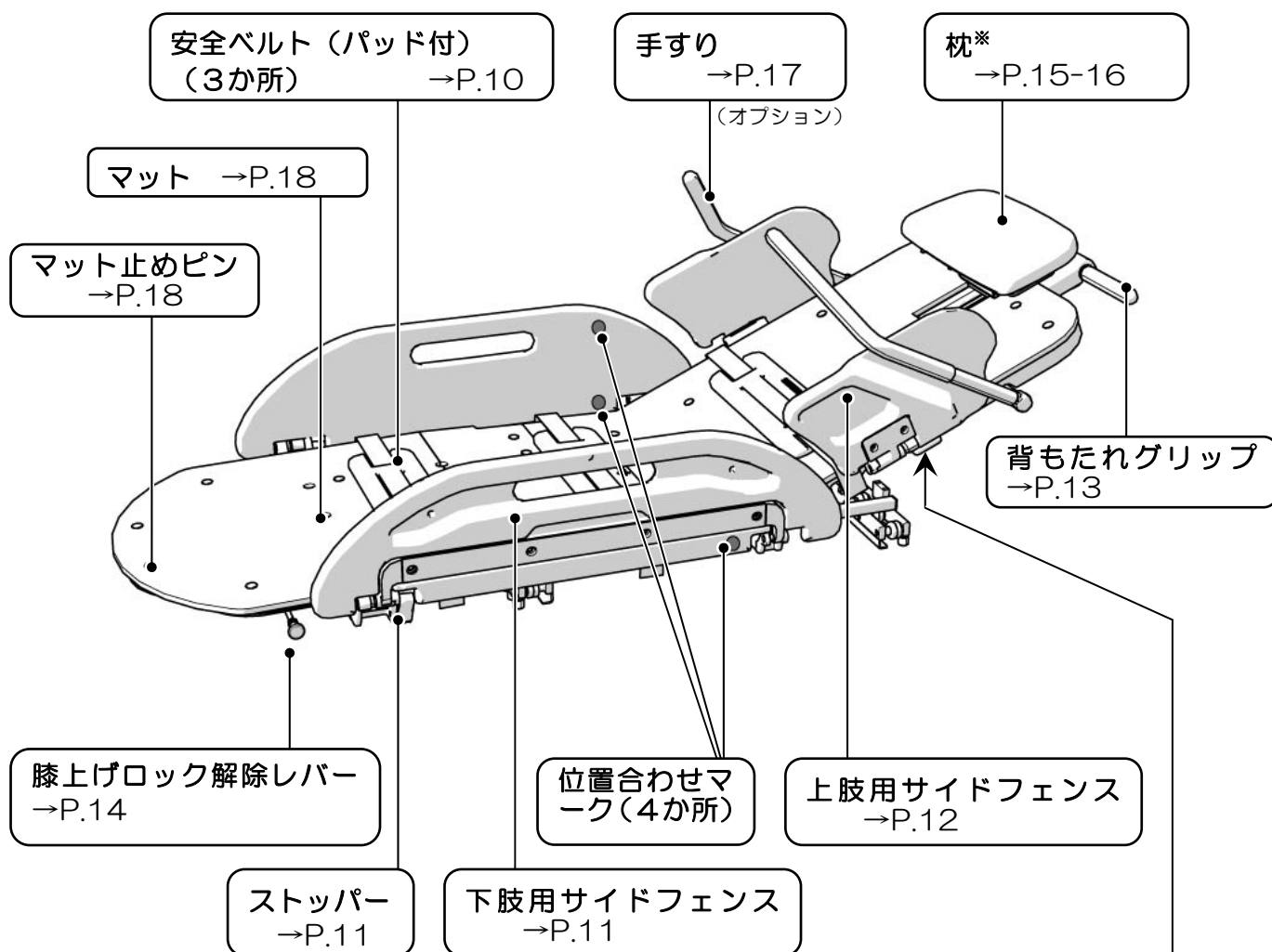
担架上での移乗・洗髪・洗身作業時は、入浴者の落下に注意

- 担架上での体位変換作業は、作業の反対側のサイドフェンスを起こしたまま行ってください。
- 安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから離れないでください。

洗身作業などで入浴者を側臥位にする場合は、担架やサイドフェンスを腰で押さえる

ストレッチャーの転倒を予防します。

ご使用になる前に

各部の名称

（絵はスライド式枕タイプ）

※スライド式枕のみ

ご使用になる前に

始業点検について

ご使用前に下記の始業点検項目にもとづき、始業点検を実施してください。

（絵はバスクッションピロータイプ）

①担架はストレッチャー／洗浄台の上でロックできますか？

②マットは破れていませんか？
マット止めピンは確実に取り付けられていますか？

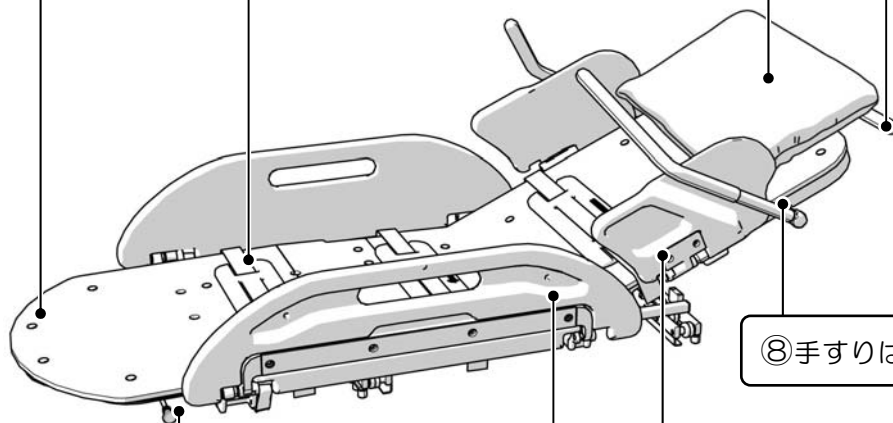
③安全ベルトやパッドに、やぶれやほつれはありませんか？
バックルの破損はありませんか？

④枕に破損はありませんか？※1

⑤背もたれは操作できますか？

⑥膝上げは操作できますか？

⑦サイドフェンスは操作できますか？

⑧手すりは操作できますか？※2

※1 バスクッションピロータイプの場合

※2 手すり（オプション）を設置している場合

点検の際は、本ページをコピーしてご使用ください。

始業点検チェックリスト：スピノ用担架（CBW-100／105）　点検日　　年　　月　　日

項目	点検内容	点検方法	チェック	備考
①	ストレッチャー／洗浄台上での担架のロックの確認	1. 担架が載ったストレッチャー／洗浄台を浴槽へ連結 2. 担架ロック解除レバーを持ち上げたまま担架を 20 ㎝程度スライド 3. 解除レバーから手を離した状態で担架を元の位置にスライドさせてロック 4. 担架を前後に押し引きしてロックが外れないか確認	□ OK・□ NG	
②	マットの破れ マット止めピン	目視	□ OK・□ NG	
③	安全ベルトのほつれ パッドのやぶれ バックルの破損	目視	□ OK・□ NG	
④※1	枕の破損	目視	□ OK・□ NG	
⑤	リクライニングのロック	1. 背もたれを持ち上げてロックさせ、上から少し力を加えてロックが外れないか確認 2. 背もたれを最後まで持ち上げてロックを解除し、背もたれが倒せることを確認	□ OK・□ NG	(P.13 参照)
⑥	膝上げの操作	1. 膝上げロックを解除して膝部を持ち上げ、上から少し力を加えてロックが外れないか確認 2. 膝上げロックを解除し、下げられることを確認	□ OK・□ NG	(P.14 参照)
⑦	下肢用サイドフェンスの操作	1. ストッパーを解除し、サイドフェンスを倒す 2. サイドフェンスを起こし、自動でロックされることを確認	□ OK・□ NG	(P.11～12 参照)
	上肢用サイドフェンスの操作	（手すり※2 を跳ね上げておく） 1. サイドフェンスを倒す 2. サイドフェンスを起こし、自動でロックされることを確認	□ OK・□ NG	
⑧※2	手すりの操作	手すりを上げ下げできることを確認	□ OK・□ NG	(P.17 参照)

※1　バスクッションピロータイプの場合
※2　手すり（オプション）を設置している場合

またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、最寄りの営業所にご連絡ください。
尚、故障中は故障した機器を誤って使用しないように、周囲の方が分かるように表示（故障中の貼り紙等）をお貼りください。

ご使用になる前に

組み合わせ

本製品は、当社浴槽『スピノ』専用の担架で、専用のストレッチャーまたは洗浄台に載せて移動します。

必ず専用の浴槽・ストレッチャー／洗浄台と組み合わせてご使用ください。

周辺装置（別売り）

浴槽（スピノ）	・・・CB-100
高さ調節式ストレッチャー（スピノ用）	・・・CBS-100
ストレッチャー（スピノ用）	・・・CBS-110
洗浄台（スピノ用）	・・・CBN-100

操作方法については、各々の取扱説明書をご覧ください。

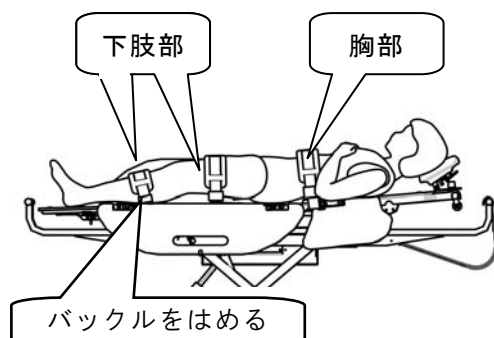
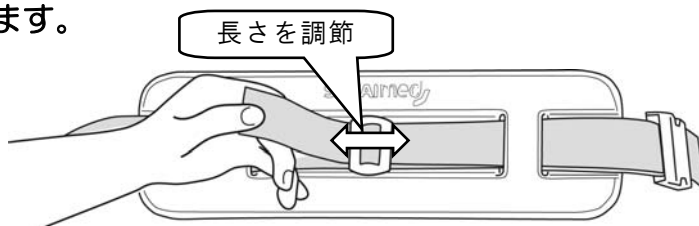
ストレッチャー／洗浄台⇔浴槽間の担架の移動に関する詳細事項は、浴槽の取扱説明書「入出浴作業」をご覧ください。

操作方法

安全ベルト

装着

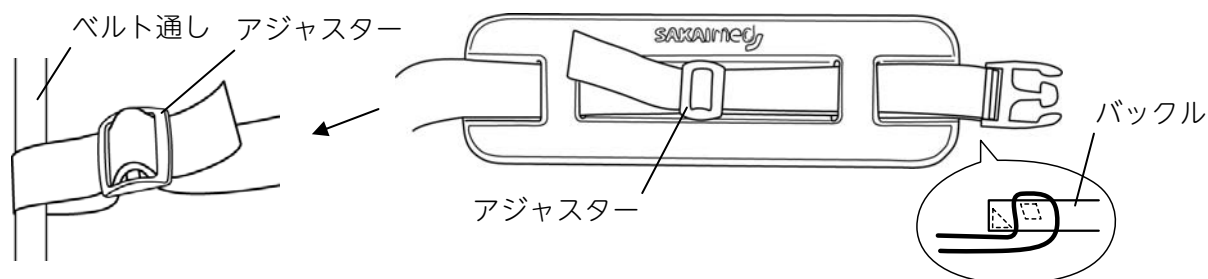
1. 担架へ入浴者を移乗させたら、安全ベルトのバックルをはめます。

胸部（１か所）と下肢部（２か所）のベルトを装着してください。

2. 入浴者に合わせて長さを調節します。

⚠警告
・担架に入浴者を乗せたら、３本の安全ベルトを装着する
・安全ベルトは、入浴者の体格に合せて長さを調節する
・安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない

⚠注意
・安全ベルトの損傷に注意（ベルト、パッド）

取り付け

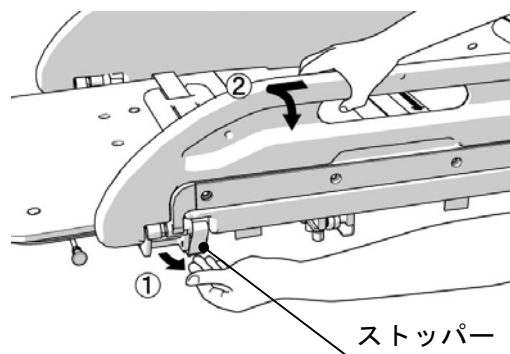
ベルトは、片側をベルト通しに通してアジャスターで留めます。もう一方はパッドに通し中間でアジャスターを通しておきます。

バックルに図のように通し、パッド部のアジャスターで留めます。

操作方法

下肢用サイドフェンス

倒す

1. ストッパー下側を手前に引きます。

2. 引いたまま、反対の手で入浴者の足側へ下肢用サイドフェンスをスライドさせ、手前に倒します。

参考

下肢用サイドフェンスを着衣ベッドや着衣チェア、移動用ストレッチャーの縁に倒して、トランスファーボードとしても使用することができます。

起こす

起こすと自動的に固定されます。

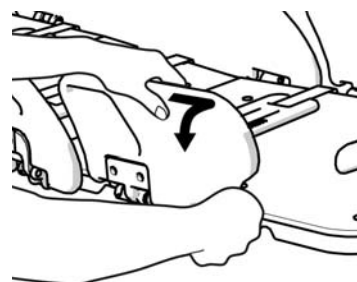
⚠警告
- 担架に入浴者を乗せたら、下肢用サイドフェンスを起こして、ロックを確認
- 下肢用サイドフェンスを倒してトランスファーボードとして使用するときは、下肢用サイドフェンスが相手側の支持で安定していることを確認

⚠注意 サイドフェンスを操作するときは、入浴者の手足の状態に注意

操作方法

上肢用サイドフェンス

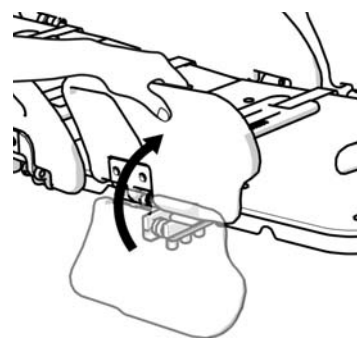
倒す

1. 上肢用サイドフェンスを入浴者の頭側へスライドさせ、ロックを解除します。

2. 手前に倒します。

参考

オプションで手すりが付いている場合、手すりは上肢用サイドフェンスのロックを兼ねています。先に手すりを跳ね上げてから、上肢用サイドフェンスを倒してください。

起こす

1. 起こすと自動的にロックされます。

オプションで手すりが付いている場合、上肢用サイドフェンスを起こした後に手すりを下ろしてください。順番を間違えると正しくロックできません。

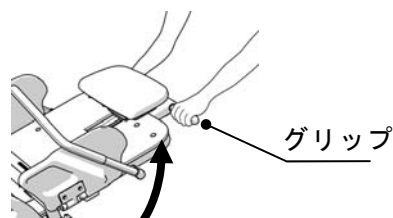
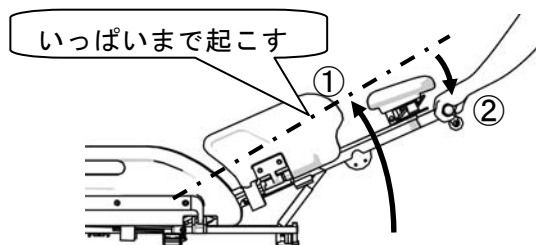
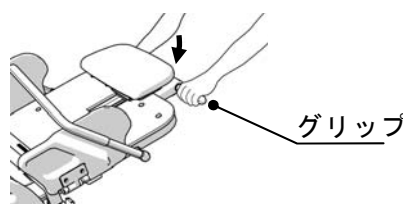
⚠警告　入浴者を担架に乗せたら、上肢用サイドフェンスを起こしてロック確認

⚠注意　サイドフェンスを操作するときは、入浴者の状態に注意

操作方法

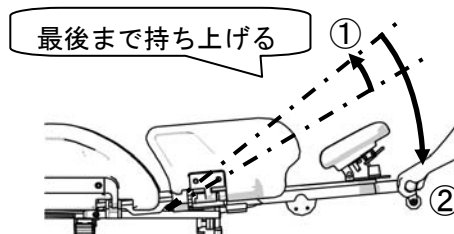
リクラインニング

起こす

1. 背もたれグリップを持って、背もたれを起こします。

2. いっぱいに起こした後に少し戻すとロックされます。

3. 背もたれに上から少し重さをかけて、確実にロックされているか確認します。

> ⚠警告　背もたれがロックされていることを確認

> ⚠注意　背もたれを操作するときは、入浴者の状態に注意

倒す

背もたれグリップを持って、最後まで持ち上げてロックを解除し、そのままゆっくり下ろします。

> ⚠警告　背もたれを倒すときは、ゆっくりと操作し最後まで手を離さない

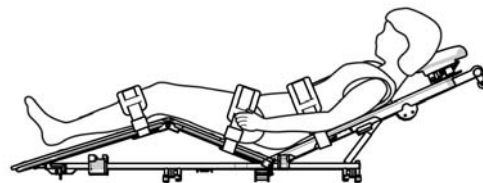
参考

・背もたれの角度は起こした状態で約２５度、倒した状態で５度です。

・背もたれを倒して入浴すると、浴槽の昇降に連動して自動的に背もたれが起きます。入浴の際に背もたれに寄りかかれない方の場合は、入浴中に浮力により背もたれが起きた状態にロックされ、そのまま出浴される場合があります。

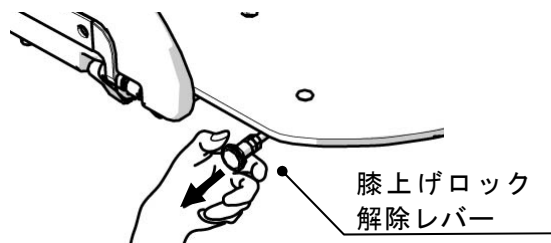
操作方法

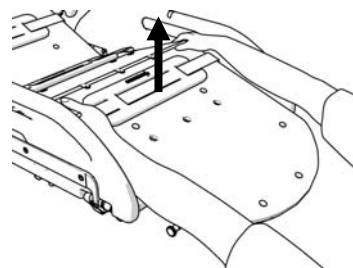
膝上げ

入浴者が下方にずれるのを防止するため、膝上げ機能を備えています。

⚠警告　膝上げ操作の際は、膝部を常に手で支え固定を確認するまで離さない

上げる

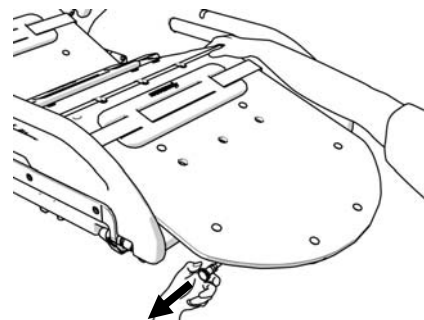
1. 膝上げロック解除レバーを横方向に引きます。

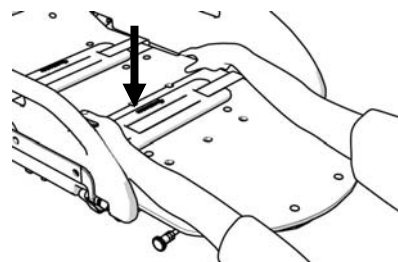
・左右連動式なので、どちらか一方のレバーを操作すればロックが解除できます。

2. 膝部を、ロックがかかるまで持ち上げます。

・途中でレバーからは指を離します。

⚠警告　膝部がロックされていることを確認

下げる

1. 膝部を手でしっかり保持し、
膝上げロック解除レバーを横方向に引きます。

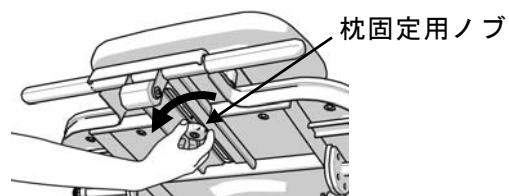
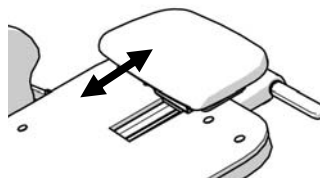
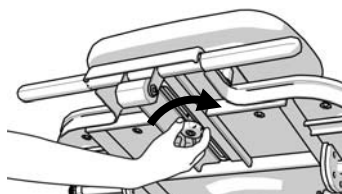
・ロックが解除されます。

2. 膝部をゆっくり下ろします。

・途中でレバーからは指を離します。

⚠注意　膝部を戻すときは手指の挟み込みに注意

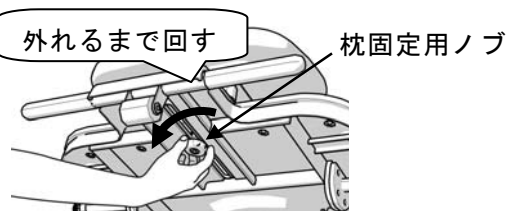
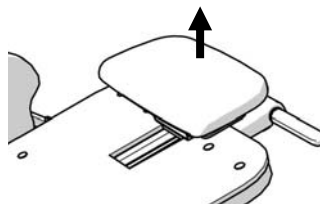
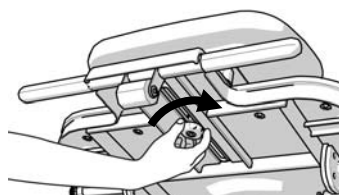
操作方法

枕 :スライド式枕タイプ(CBW-100)

位置調節

1. 背もたれ裏側の、枕固定用ノブをゆるめます。

2. 入浴者の頭の位置に合わせて、枕の位置を調節します。

3. 位置を決めたら枕固定用ノブをしめ、枕を固定します。

脱着

1. ノブが外れるまで回します。

枕の固定用ノブの取り付け穴は、外れ防止加工（２段ネジ加工）が施されています。

2. 枕を取り外します。

3. 洗浄後は、枕を背もたれにのせ、固定用ノブをしめ固定します。

> ⚠**注意　入浴時は常に枕を装着する**
> 固定用ノブの鎖が機器に絡む恐れあり

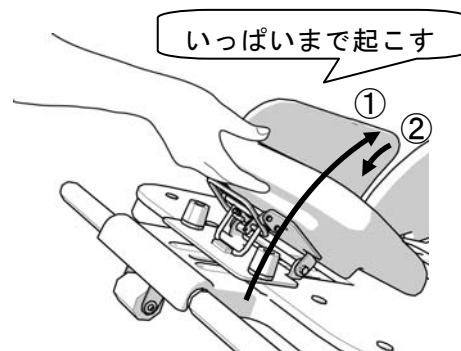
操作方法

角度調節

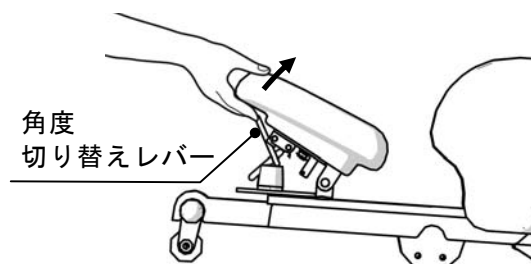
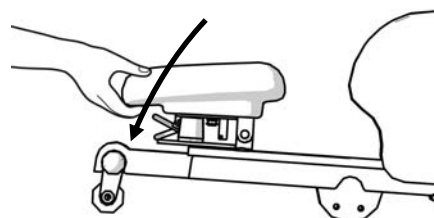
・起こす

1. 枕の上部を持って、いっぱいまで起こした後に少し戻します。

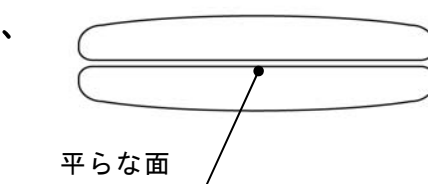
・起こした位置でロックされます。

⚠注意　**枕を上方へ起こしたときは、必ずロックを確認**

・倒す

1. 角度切り替えレバーに指をかけて枕全体を握り、少し起こします。

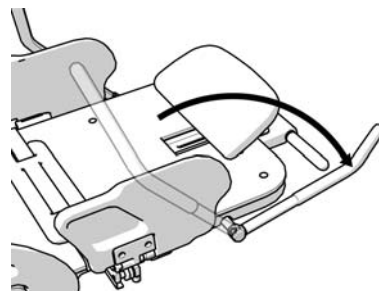
・ロックが解除されます。

2. そのままゆっくり下ろします。

⚠注意
- **枕の角度切り替えはゆっくりと**
- **枕の操作時は、手指の挟みこみに注意**

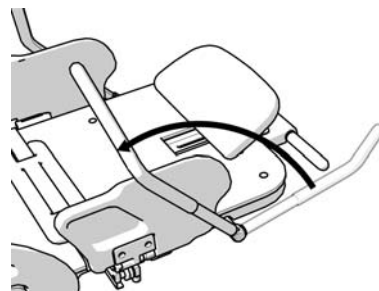
枕：バスクッションピロータイプ（CBW-105）

クッションの平らな面を背中合わせにしてカバーに入れ、カバーの口を内側に折り込みます。

操作方法

手すり（オプション）

跳ね上げ

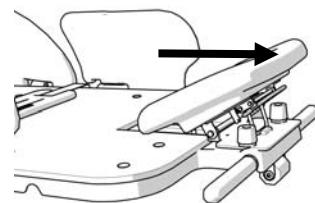
グリップを持ち、枕側に跳ね上げます。

下ろす

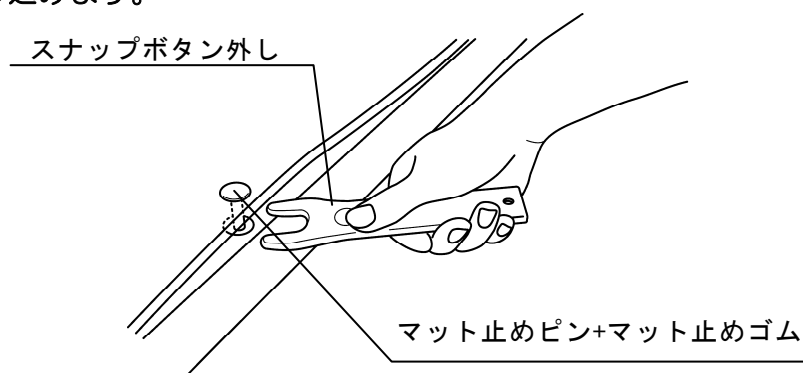
グリップを持ち、手すりを下ろします。

⚠警告　担架に乗せたら、必ず手すりを握らせる

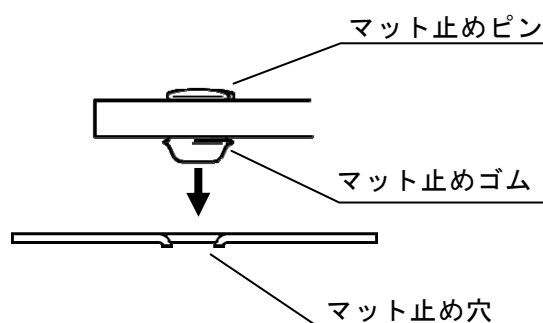
⚠注意　手すりを操作するときは、入浴者の状態に注意

操作方法

マットの脱着

マットの脱着は、枕の位置を背もたれグリップ側へ最後まで移動した状態で行ってください。（P.15 参照）

外す

1. マットの端を軽く持ち上げ、付属のスナップボタン外しをマットの下に差し込みます。

着ける

1. マットを担架カバーに乗せて、マット止めの穴とマット固定ゴムが合っていることを確認します。

2. マットの表面からマット止めゴムを押して、穴にしっかり差し込みます。

⚠注意　・担架マットの損傷に注意する
・入浴作業前に全てのマット止めピンが確実に取り付けられていることを確認する

参考

マットのマット止めゴムが入りにくい場合、マット裏面のマット止めゴム、又は担架のマット止め穴を水で濡らすと入りやすくなります。

操作方法

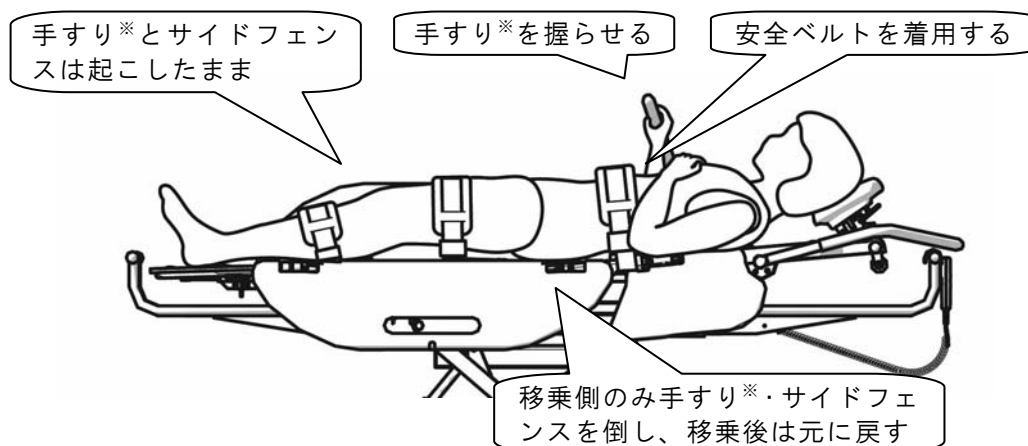
担架への移乗作業

1. 移乗は背もたれを倒した状態で行います。

2. 移乗する側の手すり※を跳ね上げ、サイドフェンスを倒します。移乗と反対側の手すり※とサイドフェンスは、起こしたままにして入浴者の転倒・落下に注意しながら作業をします。

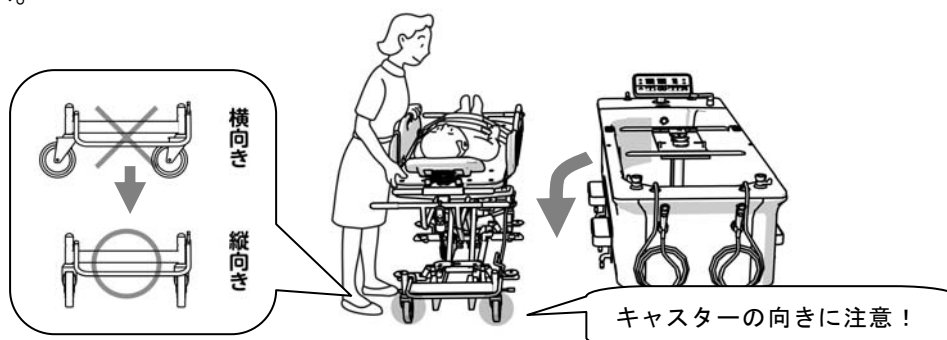
3. 移乗後は、安全のため３本の安全ベルトを着用します。

4. サイドフェンス・手すり※を元に戻します。肘を手すり※の内側に入れます。

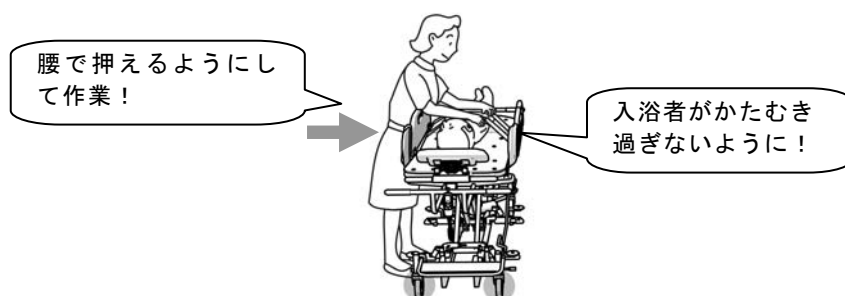
※手すり（オプション）を設置している場合

⚠注意　　入浴者を担架に乗せたら、手すり※を握らせ肘を内側に入れる

操作方法

洗髪・洗身作業

●担架を乗せたストレッチャーは、傾斜がきつい場所や、排水口の上は避けて停めてください。停める際には、必ずキャスターを縦向きにしてから、ロックしてください。

●担架上で体位変換を行う場合は、必ず介助の反対側のサイドフェンスを起こし、入浴者の落下等に注意しながら作業してください。

●安全ベルトを洗身作業等で外した場合は、入浴者から目を離さないでください。作業が終了したら、速やかに安全ベルトを装着してください。

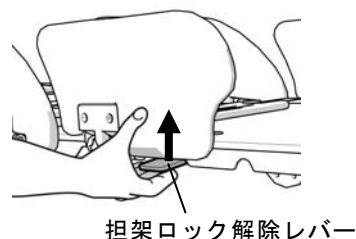
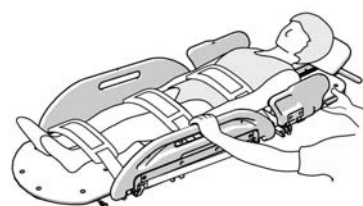
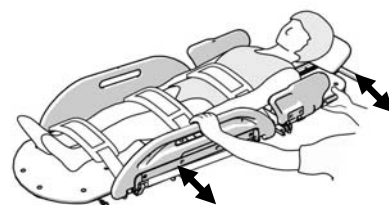
●洗身作業などで、入浴者を側臥位にする場合は、ストレッチャーの転倒を予防するために、担架やサイドフェンスを腰で押えるようにして作業してください。

⚠警告　・担架上で入浴姿勢を変えるときは、手足の指の状態に注意
・担架上での移乗・洗髪・洗身作業時は、入浴者の落下に注意

操作方法

浴槽⇔ストレッチャー/洗浄台間の移動

担架をストレッチャー／洗浄台から浴槽、または浴槽からストレッチャー／洗浄台へ移動させます。

1. 担架ロック解除レバーを握り、移動し始めたらレバーから指を離します。

・片手でサイドフェンス、もう一方は背もたれを持ちます。

2. 担架がロックされる位置まで移動します。

3. 担架を押し引きし、確実にロックされていることを確認します。

⚠警告
- **担架を移動させるときは、ストレッチャーが上限にあること（昇降式ストレッチャー）、浴槽の連結完了ランプが点灯していることを確認**
- **担架を少し移動させたら、必ず担架ロック解除レバーから指を離す**

⚠注意
- **担架を移動させるときは、介助者の手指等の挟み込みに注意**
- **担架の移動は、ゆっくり行う**

参考

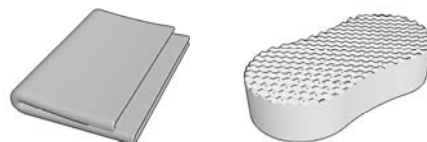
・担架をストレッチャー/洗浄台から浴槽へ移動後、再びストレッチャー/洗浄台へ戻す際は、安全のため、担架を送り出した側以外は、担架を移動できません。
・連結・移動に関する詳細事項は、浴槽取扱説明書の「入出浴作業」をご覧ください。

日常のお手入れ

清掃

1. マット、ベルトを取り外し、やわらかい布、またはやわらかいスポンジに浴室用洗剤を含ませ、汚れを落とします。

・ローラー部に髪の毛などが詰まっている場合は、
フレームの端面などに注意して清掃してください。

推奨品：酒井医療㈱「浴槽クリーナ A」

お願い

・洗剤をかけたまま放置しないでください。
・強くこすらないでください。キズの原因になります。

⚠**注意**
・**タワシやブラシは使わないこと**
・**研磨材がついたスポンジや、ネットに包まれたスポンジは使わないこと**
・**フレームの端面や凹凸に注意**

---

2. フレーム、マット、ベルトについている泡をシャワーで十分洗い流します。

⚠**注意**　**高温のシャワーをマットにかけないこと**

お願い

・泡が残っているとカビが発生しやすくなります。
・お湯で洗い流した場合、最後は水で洗い流してください。

---

3. 乾いた布で水滴を軽く拭き、マットは、表面に水が残らないように立てかけて、日陰干しにて乾燥させます。

⚠**注意**　**担架マットは日陰干しにて乾燥すること**

お願い

・水滴を残すと水垢などが残り、くすみの原因となります。

バスクッションピロー

バスクッションピローは、カバーとクッションを分けて洗います。
カバーを洗濯する場合は洗濯用ネットに入れます。
クッションはシャワーなどで水洗いをして、日陰干しします。

お願い　クッションを天日干しすると、素材が劣化します。

このようなときは

まずは、次の内容を確認していただき、なお異常があるときは最寄りの営業所までご連絡ください。

	このようなときは	ここを確認してください	参照ページ
枕 ※1	枕の位置調節ができない	●枕の固定用ノブをゆるめましたか？ →固定用ノブをゆるめてから、枕の位置を調節してください。	P.15
	枕が外せない	●枕の固定用ノブが完全に外れていますか？ →最後まで回してノブを取り外してから、枕を外してください。	P.15
サイドフェンス	上肢用サイドフェンスが倒せない	●手すりが跳ね上げられていますか？※2 →手すりを跳ね上げてから、上肢用サイドフェンスを倒してください。	P.12
		●倒す際に、入浴者の頭側にスライドさせていますか？ →入浴者の頭側にスライドさせてから、上肢用サイドフェンスを倒してください。	P.12
	上肢用サイドフェンスが起こせない	●手すりが跳ね上げられていますか？※2 →手すりを跳ね上げてから、上肢用サイドフェンスを起こしてください。	P.12
	下肢用サイドフェンスが倒せない	●ストッパーを引いていますか？ →ストッパーを引いてから、下肢用サイドフェンスを入浴者の足側にスライドさせ、手前に倒してください。	P.11
背もたれ	背もたれを起こした位置で固定できない	●背もたれをいっぱいまで上げていますか？ →背もたれをいっぱいまで上げてから、ゆっくり下ろしてください。	P.13
	背もたれが倒せない		

※1：スライド式枕タイプの場合
※2：手すり（オプション）を設置している場合

このようなときは		ここを確認してください	参照ページ
マット	マットが外れてしまう	●マット止めピンが穴にしっかり差し込まれていますか？ →すべてのマット止めピンを完全に差し込んでください。	P.18
		●マット固定ゴムが損傷していませんか？ →損傷している場合は、最寄りの営業所にご連絡ください。	

・その他、ご不明な点につきましては最寄りの営業所にご相談ください。
・ご使用中万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、
　使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

機器について

保守・点検

・本製品を使用する際は、機器の管理者の方が P.7～8 の点検項目に基づき、必ず始業点検（日常点検）を実施してください。
・長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
・点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
・清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

● 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは別添の「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

保証とアフターサービス

保証書と保証期間

- 保証書（別添）は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
  保証書がないと保証期間中でも有償修理とさせていただく場合があります。
- 保証期間は 1 年です。但し本体フレームは 5 年間です。保証の規定につきましては保証書をご覧ください。

修理をご依頼いただく場合

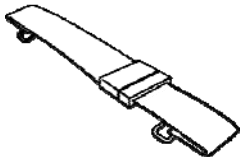
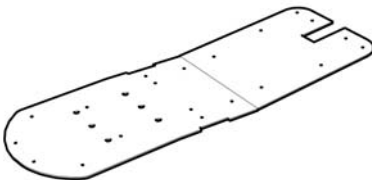
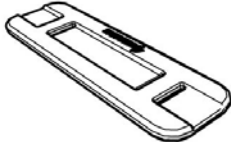
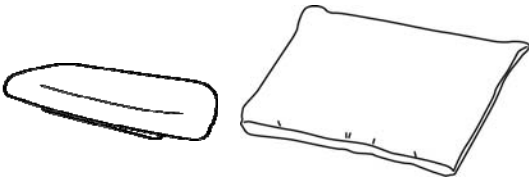
・修理をご依頼いただく場合は、下記のことをお知らせください。

機種名　：　*担架　CBW-100／105*
　　　　　　オプション手すり　CBW-10

お買い上げ：　年　月　日

故障状況（できるだけ詳細に）

住所、氏名、電話番号

・メーカーより指示のあるとき以外は、機器を分解しないでください。

機器について

・

耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

損耗品　（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

正常な使用において、交換の目安が約２年のもの。

損耗品の交換時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

保守用性能部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

機器について

仕様

名　　称		担架	
型　　式		CBW-100/105	
外形寸法 (L×W×H)	CBW-100	1891×688×311 mm	
	CBW-105	1851×688×311 mm	
質　　量		約 50 kg	
使用可能体重		100kg 以下	
材質	フレーム	ステンレス	
	担架面	背もたれ部：プラスチック（PVC） 臀部、下肢部：ステンレス	
	サイドフェンス	プラスチック（PP）	
	マット	プラスチック（EVA スポンジ）	
	安全ベルト用パッド	プラスチック（PE）	
機能構成		背もたれリクライニング（5°/25°） 膝上げ機構 安全ベルト（パッド付）３本 背もたれグリップ マット サイドフェンス（上肢用、下肢用） リクライニングローラー	
		枕	CBW-100:高さ調節式枕（0～180mm、角度調節付き）
			CBW-105:バスクッションピロー
付属品		スナップボタン外し	

オプション手すり装着時

型　　式		CBW-100/105　＋　CBW-10
外形寸法 (L×W×H)	手すり使用時	1891×700×481mm
	跳ね上げ時	2054×700×311mm
質　　量		約 55 kg
材　　質	手すり	ステンレス、プラスチック（PVC）

注．都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。